

# 社会の様々な事象を自分事として考え、行動する力を育成するNIE ～日々の教育活動の中での取組を通して～

国富町立八代中学校 教諭 柿木 一光

## 1 はじめに

### (1) 学校の概要

北は西都市、西は綾町に境を接し、国富町の最北西部に位置する本校は、八代小学校より入学してくる全校生徒数65名の学校である。校区が非常に広く、1時間かけて通学してくる生徒もいる。ボランティア活動が非常に盛んで、毎週水曜日の朝のボランティア活動や「1」のつく日のあいさつ運動などを行っている。

### (2) 学校の目指す生徒の姿

本校の教育目標は、『自ら考え 心豊かな たくましい生徒の育成』である。また、目指す生徒像として、求めて学習する中学生、自ら考え行動する中学生、根気強く頑張る中学生、明るくたくましい中学生を目指し教育を行っている。

本年度の重点目標は、ア 学力の向上(個に応じた指導とICTを有効に活用し、基礎学力を定着させる)、イ 社会に貢献する心の育成(物事を自分事として考え、行動する力を育成する)、ウ 望ましい生活習慣の確立(健康な心身とネット環境への適切な対応力を育成する)である。

### (3) NIE教育とICT教育

NIE教育についても、学力の向上に向け、ICT教育との連携を行い、物事を自分事としてとらえさせるために、自分の意見を書かせるなど、新聞を活用してきた。特にICTの活用には、校内研修や国富町教育研究会でも取り組んでいるところである。

### (4) 学校におけるこれまでのNIE活動

#### ア 新聞情報ステーション

新聞記事を多目的ホールに掲示している。全学年閲覧可能なエリアになっており、毎朝ボランティアの生徒が、新聞を閲覧場所に設置している。前日分の新聞は、空き教室の新聞ストック場所に置き、一定期間自由に読めるようにしている。



【写真① 新聞情報ステーション】

#### イ 気になるニュースの掲示

生徒の興味・関心を引きつける記事を中心に、社会でどんなことが起きているかを知ること、社会的事象に対して興味をもてるよう特に話題となったニュースや、内容を中心に切り取り、掲示している。



【写真② 新聞切り抜き】

## 2 実践の内容

### (1) 2年生 立志式での活用【実践1】

#### ア 自己表現の場としての新聞作成

立志式を通して、中堅学年としての自覚を持たせ、集団の一員として主体的に活動させることで自主的、実践的な態度を育てるとともに将来の生き方を考える機会を持たせた。そのまとめとして、生徒本人の決意表明と家族への一言などをまとめた新聞を作成した。生徒達の自主性を重んじた記事を作成するため、細かい内容などは、特に指定していない。

新聞作成をするにあたって、宮崎日日新聞社さんにご協力いただき【写真3】、新聞を実際に作成する際の具体的な方法や、家族への体験談などを載せる場合のインタビューの仕方などを教わった。また、GIGAスクール構想のもと生徒全員に支給されたタブレットで新聞作成を行った。

式典は参観日に設定することで、家族の方々と共に祝うと同時に、異世代交流の場としても機能していた。

#### イ 実践の感想、実践前後の変化

##### ① 生徒が新聞作成を通じてどのような感想を持ったか、アンケートをとった。

- ・自分の考えをまとめることだけでなく、将来への目標までも新聞を通して定めることができた。
- ・新聞を作るのは大変だった。しかし、文章を考えるのが楽しかった。
- ・読み手がわくわくするような文章を作らなければいけなかったため、表現力がついたと思う。
- ・新聞を今まで作ったことがなかった。また、タブレットでの作成にも苦労したが、将来に役に立つと思ったので、新聞作りをして良かった。
- ・見る側にきちんと伝わるように文章表現を工夫した。また、画像や文章のバランスを考えるのは難しかった。

##### ②実践前後の変化

実践をする前と後で、自分はどのように変化したと思うかアンケートをとった。

- ・表現力がついたと思います。写真をどのように配置するかなど、見出しの作成など、相手に伝わるように考えながら新聞を作成したため。
- ・新聞への関心が高まった。新聞を作成にする際に、多目的ホールに掲示してある新聞を何回も読んでレイアウトや文章表現の参考にしたから。
- ・世の中に対する考え方が深まった。新聞は世の中の出来事を正確に書いてあるため、新聞を見ることで自分の意見を持ちやすかった。

【写真③ 新聞作成】



【写真④ 立志式】



【写真⑤ 新聞】



## (2) 新聞情報ステーションの改良、新聞スクラップ 【実践2】

### ア 新聞情報ステーションの改良

【写真⑥ 新聞情報ステーション】

新聞を日常的に活用してもらうために、全学年が利用する多目的ホールに掲示している。各学級の生徒に新聞で気になった記事を切り取ってもらい掲示した。また、教師側が生徒に考えさせたい記事も掲示した。記事の選定方法は生徒自身に任せてあるが、全校生徒が関心を示す記事を選定させるようにした。記事を掲示するだけでなく、担当している社会科の授業に関係のある記事は授業でも活用するようにした。新聞をただ切り抜き掲示するのではなく、例えば、授業のまとめの際に新聞記事の「見出し」を作成させ、全校生徒で投票させるなどの工夫も行った。以下はその感想である。



- ・投票は、他の生徒の意見も聞けて、考え方が広がるのでおもしろい取り組みだと思った。
- ・楽しみながら学ぶことができた。
- ・みんなの考えた文章や言葉を知ることができて、見ていておもしろかった。

また、本校では朝自習の時間に週3回読書の時間を設けている。生徒に読書を促すため、図書司書の先生に、新聞情報ステーションに新聞記事と関連のある図書の本を展示してもらっている。新聞記事をきっかけに関連記事を手にする生徒も増えている。

#### 【生徒の感想】

- ・色々な新聞が掲載してあるので、社会で起きている出来事を知ることができる。
- ・楽しみながら学ぶことができた。
- ・様々な情報があって良いと思った。部活動に関する記事が掲示してあったので、参考になった。

【写真⑦ 新聞情報ステーション】



### イ 新聞スクラップ

社会的事象に興味・関心を持たせ、新聞記事を作成する際に、見本として活用できるように一冊のノートに自分の気になった記事のスクラップを行った。新聞記事に苦手意識を持つ生徒が多いため、始めは新聞記事を切りとることに抵抗がある生徒が多かったが、継続していくうちに新聞記事を友達に広げたいと思う生徒も出てきた。

【写真⑧ 新聞スクラップ】



#### 【生徒の感想】

- ・ノートをみんなで共有するので、自分以外の人の考えを知ることができる。
- ・新聞を読む機会がなかったので、新聞を読む時間ができた。
- ・深く考える機会になったので、もっとやっていきたい。新聞社によって記事が違っていたものもあった。
- ・世界では色々なことがおきていると感ずることができた。

## ウ 新聞記事のコラム活用

読解力を上げていくため、帰りの会に宮崎日日新聞社のコラム記事を活用し、文章を読み、感想を書く取組を行った。5分間という時間を設定し時間内で新聞記事を読み取らせることで、文章を読むスピードも上昇させるようにした。時間内で行わせるため、コラムを読み終わっても、文章の意味をとらえることが難しい生徒もいた。また、内容を読み取ることが難しい生徒にとっては新聞記事を最後まで読むこともできていなかったが、徐々に慣れていった。

繰り返し行っていくことで、感想も質の高いものになっていた。不思議に思ったことや、興味を持ったことなど自分の意見を書くことができる生徒がより多くなってきた。また、自分の意見を書くことが難しい生徒も文章量が増えた。生徒自身も自分の意見を表現したいという生徒が多くおり、文章量が増えることで、意欲的に取り組む生徒が増えた。

### 【生徒の感想】

- ・文字に慣れることで、読み取る力が身についたと思う。
- ・コラム記事の筆者が何を言おうとしているのか理解しようと心がけるので、読解力が上がったと思う。
- ・知らない言葉や言い回しがあるため、語彙力が上がったと思う。

## 3 成果と課題

### (1) 成果

【実践1】○学力の向上に向け、ICT教育との連携を行い、「思考力・判断力・表現力」を身につけさせるために、発表物に新聞の工夫を取り入れるというものであった。生徒の感想にもあるように、生徒自身が新聞を活用することで、表現力がついたという意見が多かったのが分かった。

【実践2】○物事を自分事としてとらえさせるための実践である。昨年から行ってきた新聞情報ステーションについては、手探りの状態で、NIEについて勉強しながら、実践を行ってきた。新聞そのものを使用することで生徒達の興味・関心を引くことは難しいように感じたが、図書館の本との連携や、授業での見出しの取り組みなど、生徒たち自身の生活に関係するような取り組みを行ったところ、新聞に対して関心を持つ生徒が多くなった。また、授業にも積極的に取り組むようになったと感じた。実践を積み重ねていく中で新聞にふれることで、語彙が増え、人に伝わりやすい言葉使いを知ることができ、語彙力が上がった。

### (2) 課題

【実践1】GIGAスクール構想に基づき生徒に一人一台タブレットが支給され、NIEと連携しながらの実践であったが、その他にも様々な活用ができるのではないかと考えている。端末を活かしての新聞記事や、新聞を読んだ感想交流など新たな新聞活用ができるのではないかと考えている。

【実践2】新聞情報ステーションで、より教育的効果を上げて行くためには、設置するだけでなく生徒達が楽しんで新聞に触れ、内容を読むような仕掛けを講じる必要がある。最終的には、生徒達が新聞情報ステーションで、新聞を読み、自分の意見を友達と共有し、社会的事象について関心を持ち、自分自身の意見を深めることができるようにしていきたい。

今後も、成果のみられた取り組みを継続しつつ発展させた、新たな手法を導き出したい。